

研究の背景・目的

近年、松江市城山公園のサクラが“ならたけもどき病”によって枯れています。公園内の“本丸”と“二の丸”では約120本サクラのうち約半数が枯れました。

そこで、薬剤、温水殺菌、拮抗微生物などを用いた防除法を検討しています。また、この病気が発生しにくい土壌条件についても調査しています。この研究は松江市から委託を受けて実施しています。



写真-1 地際から発生したナラタケモドキ



写真-2 枯死した木の皮を剥くと白い菌糸膜が付着。この菌糸膜によって病気の発生を見分けます。

研究方法

①温水処理で殺菌する治療法を検討しています。さらに、この温水に病原菌を抑制する微生物を混入して、より効果的な方法も調査しています。

②病原菌が伝染しにくい土壌条件を調査しています。PH、有機質含有量など異なる土壌条件で病原菌の蔓延を調査しています。

研究の状況と成果

40°Cの温水ではサクラの根よりも病原菌が短時間に死滅しました。

バチルス・スプチルス(枯草菌)が病原菌の生育を著しく抑制しました。

腐植質の施用によって病原菌が死滅する場合があります。

研究成果の活用場面・その他

松江市城山公園での防除事業に活用します。感染木に対して治療法を実施し、また伝染しにくいよう土壌改良等を検討します。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

所属グループ 森林保護育成グループ

担当研究者 陶山 大志(すやま ひろし)

問い合わせ先 0854-76-3823

E-mail chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名:松江市城山公園内のサクラならたけもどき病等の防除に関する研究(研究期間:H19~)